

接遇改善

ミーティングから

当院では、患者様が快適に治療をうけて頂けるよう、毎月一つ接遇改善のテーマを決めて実施し、どれだけ改善できたかをスタッフ全員でチェックしています。

十一月は「挨拶」をテーマにし、スタッフそれぞれが自分自身の挨拶の見直しを行いました。その中で反省として多く上がったのは、「混雑時、こちらから積極的に挨拶ができていないこと」があり、患者様に不快な思いをさせたのでは？という事でした。

挨拶は、心のコミュニケーションだと言われています。お互いが、かわすことができて初めて通じ合い、安心・信頼が生まれます。患者様に快適に治療をうけて頂ける為には、欠かすことはできません。今後、このことを忘れずに「おはようございます」

リハビリテーション

事始め⑬

「お大事になさいます」等の挨拶を積極的に行い、より多くの心のコミュニケーションをとれるようにスタッフ一同努めて参りたいと思っております。よろしくお願いたします。

【細島成氏・曾山信彦】

加古川市の松本病院で二ヶ月間実習させて頂きました。

158床を有する一般病院で、内科・外科・整形外科・放射線科・リハビリテーション科・リウマチ科があり、特別養護老人ホーム・訪問看護ステーション・在宅介護支援センター・デイサービスセンターを抱え、地域に根ざした医療を目指した



病院です。

高齢者の転倒による骨折を担当しました。高齢者では骨粗鬆症がある人に骨折が多く見られます。

骨折する場所としては、段差が大きいところは普段から注意していますが、ふすまの敷居、じゅうたんの端にひっかかったり、何気なくおかれた新聞紙や雑誌に

すべって転倒することがあります。時間帯としては、朝方が多く起床直後にトイレに行



くときが多く、眠剤などを服用しているときなどには特に頻発します。意識状態がまだ覚醒されていない時間帯が危険で注意が必要です。

患者様の評価や訓練を行いながら少しずつ雰囲気にも慣れ、打ち解けられるようになり、色々なことを教わりました。

漢方入門⑦

今回は患者様からの質問が、比較的に多い更年期障害について取りあげたいと思います。



まず、西洋医学的な治療法としては、欠落した、ホルモンを補うホルモン補充療法(HRT)が一般的で、中高年女性の生活の質を著しく改善することが知られています。

しかし、ホルモン剤はだれでもが飲めるわけではなく、たとえば血栓症があるとか、乳がんの既往があるような人は服用できませんし、ホルモン剤に対して抵抗感をいただく人もいます。そのようなときには漢方治療を用います。

更年期障害の症状として一番多い訴えは、のぼせて汗が出てくるというものです。このような時に防已黄耆湯(ぼういおうぎとう)を用いると汗が減少します。その他にめまいには、女神散(によしんさん)がよく効きますし、気鬱のときにはシソの味がする香蘇散(こうそさん)が効果的です。また、動悸がするようなどときには加味逍遙散(かみしょうようさん)を用いたり、そのときの症状や体質によって多くの漢方薬の中からお薬を合わせていくことができます。

そして効果においても西洋医学と遜色のない結果も報告されています。最近疲れやすい、イライラする、不安感、肩が凝る等の症状で気になっている患者様がいらっしゃいましたらご相談ください。

曾山医院

胃腸科・外科・内科・肛門科

☎656-2131 兵庫県津名郡津名町志筑 1391-9 ☎0799-62-5566

編集委員会

岡崎博子 背野有加里
荷出真巳 赤松陽子
西岡博子 曾山千賀子
(協力) パソコン教室クリック